



子ノ泊山の山頂付近

り、その効果を町内各地域へも波及していきけるよう取り組みを進めてまいります。

飛雪の滝キャンプ場につきましては、昨年12月末時点で4、303名の方に宿泊利用をいただいております。平成30年度の総宿泊利用者数3、517名を既に上回るなど好調に推移しております。

また、リピーターが増えてきており、この地域の観光拠点として着実に定着してきているものと感じております。

道の駅・紀宝町ウミガメ公園

3月に完成し、消防団や地域間での情報伝達の充実が図れるようになります。

避難路の整備や鮎田地区、高岡地区での一時避難場所としての高台の確保につきましては、昨年に引き続き、自治会や地元自主防災組織と連携を図りながら取り組みを進めてまいります。

令和2年度におきましても、消防施設等の整備や、防災資機材の充実を図るとともに、災害時に必要とされる非常食や日用品などの備蓄を進めてまいります。

ソフト対策につきましては、「人の命が一番」を基本に、大災害発生時には、被災者ゼロを目指し、町民各々が、「自分の命は自分で守る」という防災意識の醸成や、共助による地域コミュニティの防災力強化を図れるよう、地域の防災課題に沿った防災訓練や勉強会等を開催するなど、地区自主防災組織や町民防災会議の活動について支援してまいります。

また、地震が発生した場合に、家屋の倒壊などから身を守るための、住宅の耐震診断や耐震補強工事、家具固定事業の支援を行うとともに、火災報知器の設置事業や家具固定器具の購入補助などの町単独助成制度も引き続き実施させていただきます。「自分の命は自分で守る」対策を講じていただける

につきましても、16万人を超える多くの観光客、地元住民のみなさまに立ち寄っていただいておりますが、昨年4月からは、新たに地域おこし協力隊1名がウミガメ公園を中心に活動を開始しており、施設の魅力向上やSNSを通じた情報発信などさまざまなことに取り組み、さらなる集客につながるよう活動に従事していただいております。

また、本年の干支が「子（ねずみ）」ということもあり、「子（ね）」の名前がつく「子ノ泊山」に新年から多くの方が訪れていただいております。

さらに、近年の近畿自動車道紀勢線の延伸に伴う、交通アクセスの向上により、大都市圏からの移動時間も短縮されており、観光客数及び滞在時間が増加傾向にあります。

早期完成に向けて取り組みを進めております新宮紀宝道路も含め、今後も高速道路の延伸が期待されるところでありますので、これを契機に町内への誘客につなげてまいります。

◆ふるさと納税制度

支援も行ってまいります。今後とも、自助・共助・公助の連携をより強化し、災害に強い、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

ふるさと納税制度につきましては、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として、平成20年に創設されました。

制度開始後、寄附の上限額の引き上げやワンストップ特例制度の導入により、一気に広がりを見せましたが、返礼品の過熱に伴い地



返礼品の紀和牛

◆防災関係

防災関係につきましては、平成26年度から取り組んでおります、台風等の風水害用タイムラインを運用し、本地域への台風襲来時には、早め早めの防災対応に努めてまいります。

また、本年3月に完成予定の地震津波タイムラインにつきましても、地区の方々や関係機関のご協力をいただき、運用を開始してまいります。



整備が進むウミガメ公園横の防風林

本年1月から木の伐採および整地工事を実施しており、今後につきましては、盛土工事、擁壁工事等を実施し、順次、整備を進めていくと伺っております。

本町といたしましても、貯水槽や避難スペースの確保等、防災機能の拡充に努め、より安全・安心な道の駅となるよう、国と一体となつて施設整備に向けた検討を進めるとともに、早期完成に向けて、さらに連携を図ってまいります。

移動系の防災行政無線デジタル化整備につきましては、本年

方税法が改正され、昨年6月からは、総務大臣による指定制度が取り入れられております。

本町では、平成27年度から、柑橘類や米、海産類など町の特産品を、ご寄附いただいた方への返礼品として贈らせていただき、令和元年度からは肉類も加え、今後さらに、地元生産者等と一体となつて返礼品の内容を充実させ、ご寄附いただく金額の増加や町内物産の振興を図ってまいります。

◆子育て支援施策

子育て支援施策につきましては、安心して子育てができる環境



子育て支援センター

の整備や幼児教育の推進を図るため、老朽化が進んでいる鶴殿保育所の整備を進めてまいります。

教育・保育サービスのニーズや、より小学校とのつながりを重視し、就学前教育の充実を図るため、未就学幼児を養育する保護者の方にアンケート調査を行い、ご意見を伺いながら、幼児教育・保育施設との効率的な運営や質の高い幼児教育体制の整備を進めてまいります。

子育て家庭を支える支援体制につきましては、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター事業との連携や学童保育事業、遊び場開放事業について、さらなる充実に向けてまいります。



放デイほたるの学童保育の様子